



## 平成31年8月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年1月10日

上場会社名 マニー株式会社

上場取引所 東

コード番号 7730 URL <http://www.mani.co.jp>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 高井 壽秀

問合せ先責任者 (役職名) 執行役副社長 (氏名) 高橋 一夫

TEL 028-667-1811

四半期報告書提出予定日 平成31年1月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年8月期第1四半期の連結業績(平成30年9月1日～平成30年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年8月期第1四半期	4,801	2.0	1,589	40.1	1,667	35.5	3,086	266.0
30年8月期第1四半期	4,708	16.7	1,134	7.6	1,231	1.2	843	0.1

(注) 包括利益 31年8月期第1四半期 1,316百万円 (12.8%) 30年8月期第1四半期 1,509百万円 (110.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年8月期第1四半期	94.08	
30年8月期第1四半期	25.71	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年8月期第1四半期	38,113	34,074	89.4
30年8月期	37,683	33,546	89.0

(参考) 自己資本 31年8月期第1四半期 34,074百万円 30年8月期 33,546百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年8月期		18.00		24.00	42.00
31年8月期					
31年8月期(予想)		30.00		30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成31年8月期(予想)の中間配当金及び期末配当金には、それぞれ特別配当7円が含まれています。

### 3. 平成31年8月期の連結業績予想(平成30年9月1日～平成31年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,092	5.9	2,722	13.7	2,706	11.8	3,693	120.0	112.57
通期	18,737	6.8	5,729	12.8	5,695	9.1	5,976	58.5	182.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年8月期1Q	35,637,000 株	30年8月期	35,637,000 株
期末自己株式数	31年8月期1Q	2,828,075 株	30年8月期	2,827,961 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年8月期1Q	32,808,993 株	30年8月期1Q	32,809,120 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国と中国における関税政策見直しによる貿易摩擦の激化や欧州主要国の政治情勢に対する不透明感、中東の地政学リスク等もあり、下振れする可能性も潜んでいます。一方で国内経済は、北海道地震や台風等の影響による減速要因はあったものの、企業業績の伸長により雇用情勢や所得環境が改善し、全体としては穏やかな回復基調にあります。

当医療機器業界におきましては、先進国では医療費抑制政策や承認基準の厳格化等、厳しさが続いているものの先進医療の導入が進み、新興国では人口の増加及び経済発展に伴う医療インフラの整備が進んでいるため、全体としては引き続き市場の拡大を見込んでおります。

このような環境下、当社グループにおきましては、引き続き需要の拡大が見込まれる新興国市場において、中国、ベトナム、インドを中心にマーケティングの強化を図り、各国におけるユーザーニーズの把握、販売網の整備に努めた結果、アジア地域での売上が好調に推移し、Schütz Dental GmbH株式譲渡に伴う売上減少を補い、増収を達成しました。

海外工場におきましては、ベトナムの生産拠点MANI HANOI CO., LTD.では、アイレス針関連製品の受注増加に対応すべく、フーエン第2工場での増産体制の構築を推進しました。さらに、生産効率の向上及びコスト低減を実現するため、第1工場のレイアウト見直し、顧客への直接出荷を進めてまいりました。国内工場におきましては、品質向上及びコスト削減に向けた工程改善を推進するため、海外生産拠点との連携強化に努めてまいりました。

開発面においては、開発業務のより一層の活性化を目指して、サージカル、アイレス針、デンタルの各セグメントの開発部門を集約させ、セグメントの枠を超えた技術交流・設備の共有化を図り、新製品開発・既存製品改良研究に力を入れてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,801百万円(前年同期比2.0%増)、営業利益はフーエン第2工場の増産体制構築に伴う売上原価率の改善等により1,589百万円(同40.1%増)、経常利益は営業利益が増加したものの為替差益が前年同期より減少したことにより1,667百万円(同35.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益の計上により3,086百万円(同266.0%増)となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

#### (サージカル関連製品)

品質評価の高い眼科ナイフの売上が海外で好調に推移したことから、売上高は1,387百万円(前年同期比18.3%増)となりました。また、売上高が増加したことに加え、利益率の高い製品の売上高が増加したこと等により、セグメント利益(営業利益)は446百万円(同31.9%増)となりました。

#### (アイレス針関連製品)

アイレス針の売上が海外で好調に推移したことから、売上高は1,568百万円(前年同期比34.4%増)となりました。また、売上高が増加したことに加え、ベトナム新工場の稼働によるアイレス針の増産が軌道に乗ったことから、セグメント利益(営業利益)は634百万円(同67.7%増)となりました。

#### (デンタル関連製品)

ダイヤモンド及びリーマ・ファイルの売上が好調に推移した一方、Schütz Dental GmbH株式譲渡に伴う売上の減少により、売上高は1,845百万円(前年同期比22.1%減)となりました。一方、ベトナムへの生産工程移管の推進及び増産効果により原価率が改善された製品の売上高が増加したこと等により、セグメント利益(営業利益)は508百万円(同21.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ430百万円増加し、38,113百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加した一方、投資有価証券が減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ97百万円減少し、4,038百万円となりました。これは主に、未払法人税等が増加した一方、繰延税金負債が減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ528百万円増加し、34,074百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加した一方、その他有価証券評価差額金が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、「(1) 経営成績に関する説明」のとおりであります。通期の連結業績予想につきましては、平成30年10月11日の「平成30年8月期 決算短信」で公表いたしました数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,065,220	14,963,131
受取手形及び売掛金	2,190,987	2,359,813
商品及び製品	1,213,560	1,360,446
仕掛品	2,727,386	2,806,956
原材料及び貯蔵品	1,600,289	1,611,366
その他	452,694	356,554
貸倒引当金	△2,693	△3,463
流動資産合計	20,247,445	23,454,805
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,197,195	4,234,704
機械装置及び運搬具(純額)	4,841,745	4,852,084
土地	1,146,656	1,146,656
その他(純額)	681,101	769,967
有形固定資産合計	10,866,698	11,003,412
無形固定資産		
のれん	364,194	351,274
ソフトウェア	31,007	29,952
その他	520,142	528,572
無形固定資産合計	915,344	909,799
投資その他の資産		
投資有価証券	5,329,021	2,237,768
繰延税金資産	57,744	238,868
保険積立金	255,455	255,455
その他	11,783	13,546
投資その他の資産合計	5,654,005	2,745,640
固定資産合計	17,436,048	14,658,851
資産合計	37,683,494	38,113,657

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	138,865	228,743
未払金	831,653	564,264
未払法人税等	719,999	1,335,689
賞与引当金	546,296	458,071
その他	518,898	807,574
流動負債合計	2,755,713	3,394,343
固定負債		
繰延税金負債	680,863	—
役員退職慰労引当金	129,230	66,320
退職給付に係る負債	438,647	441,710
資産除去債務	111,298	115,432
その他	20,900	20,900
固定負債合計	1,380,939	644,363
負債合計	4,136,653	4,038,707
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	988,731	988,731
資本剰余金	1,036,311	1,036,311
利益剰余金	31,653,772	33,953,181
自己株式	△3,124,484	△3,125,059
株主資本合計	30,554,331	32,853,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,529,436	493,054
為替換算調整勘定	547,779	810,365
退職給付に係る調整累計額	△84,705	△81,635
その他の包括利益累計額合計	2,992,509	1,221,784
純資産合計	33,546,841	34,074,950
負債純資産合計	37,683,494	38,113,657

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年9月1日 至平成30年11月30日)
売上高	4,708,314	4,801,335
売上原価	1,975,453	1,663,605
売上総利益	2,732,861	3,137,730
販売費及び一般管理費	1,598,537	1,548,691
営業利益	1,134,323	1,589,038
営業外収益		
受取利息	5,384	6,896
受取配当金	20,811	21,433
投資事業組合運用益	687	—
為替差益	53,980	29,301
その他	16,864	22,286
営業外収益合計	97,728	79,917
営業外費用		
支払利息	36	36
その他	1,007	1,152
営業外費用合計	1,044	1,188
経常利益	1,231,007	1,667,767
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,749,996
特別利益合計	—	2,749,996
特別損失		
固定資産除却損	924	262
役員退職慰労金	—	28,540
特別損失合計	924	28,802
税金等調整前四半期純利益	1,230,082	4,388,961
法人税、住民税及び事業税	273,876	1,273,076
法人税等調整額	112,755	29,059
法人税等合計	386,631	1,302,135
四半期純利益	843,451	3,086,825
親会社株主に帰属する四半期純利益	843,451	3,086,825



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年9月1日 至平成30年11月30日)
四半期純利益	843,451	3,086,825
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	523,670	△2,036,381
為替換算調整勘定	139,285	262,585
退職給付に係る調整額	3,320	3,070
その他の包括利益合計	666,276	△1,770,724
四半期包括利益	1,509,728	1,316,100
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,509,728	1,316,100

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成29年9月1日至平成29年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	1,173,315	1,166,577	2,368,422	4,708,314	-	4,708,314
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	47,470	-	47,470	△47,470	-
計	1,173,315	1,214,047	2,368,422	4,755,785	△47,470	4,708,314
セグメント利益	338,723	378,221	417,378	1,134,323	-	1,134,323

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成30年9月1日至平成30年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	1,387,801	1,568,122	1,845,411	4,801,335	-	4,801,335
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	35,214	-	35,214	△35,214	-
計	1,387,801	1,603,337	1,845,411	4,836,550	△35,214	4,801,335
セグメント利益	446,630	634,227	508,179	1,589,038	-	1,589,038

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。